

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2019年5月15日
【四半期会計期間】	第55期第1四半期（自 2019年1月1日 至 2019年3月31日）
【会社名】	不二精機株式会社
【英訳名】	FUJI SEIKI CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 伊井 剛
【本店の所在の場所】	大阪市生野区巽東四丁目4番37号 （同所は登記上の本店所在地であり、実際の業務は「最寄りの連絡場所」で行っております。）
【電話番号】	該当事項はありません。
【事務連絡者氏名】	該当事項はありません。
【最寄りの連絡場所】	大阪市中央区瓦町四丁目8番4号 井門瓦町第2ビル
【電話番号】	06（7166）6820（代表）
【事務連絡者氏名】	専務取締役 山本 幸司
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第54期 第1四半期連結 累計期間	第55期 第1四半期連結 累計期間	第54期
会計期間	自2018年1月1日 至2018年3月31日	自2019年1月1日 至2019年3月31日	自2018年1月1日 至2018年12月31日
売上高 (千円)	1,562,851	1,841,555	6,149,330
経常利益 (千円)	94,363	156,720	267,497
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (千円)	58,619	127,694	177,958
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	61,851	125,278	97,328
純資産額 (千円)	1,322,833	1,474,725	1,380,097
総資産額 (千円)	6,476,240	6,433,836	6,191,893
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	7.73	16.53	23.29
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	7.52	16.34	22.77
自己資本比率 (%)	19.6	22.5	21.8

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度に係る主要な経営指標等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

なお、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡及適用後の数値で前連結会計年度末との比較・分析を行っております。

経営成績等の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しや設備投資の増加などを背景に、緩やかな回復基調で推移した一方、米中通商問題などの影響により、海外経済の動向に関する影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、中期スロ・ガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「5S活動」を基本とする着実な品質改善活動に取り組んでおります。

(1) 財政状態の状況

総資産は、前連結会計年度末に比べ2億41百万円（3.9%）増加し、64億33百万円となりました。

流動資産は、主に受取手形及び売掛金が1億93百万円、仕掛品が93百万円、未収入金が33百万円増加し、一方、製品が2億26百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ96百万円（2.8%）増加し34億83百万円となりました。

固定資産は、主に有形固定資産が1億39百万円、投資その他の資産が4百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億45百万円（5.2%）増加し29億50百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億47百万円（3.1%）増加し、49億59百万円となりました。

流動負債は、主に短期借入金が1億97百万円、前受金が77百万円増加し、一方、未払金が64百万円、支払手形及び買掛金が32百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1億97百万円（6.3%）増加し33億20百万円となりました。

固定負債は、主にリース債務が22百万円増加し、一方、長期借入金が82百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ50百万円（3.0%）減少し16億39百万円となりました。

純資産は、主に利益剰余金が96百万円増加し、為替換算調整勘定が1百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ94百万円（6.9%）増加し14億74百万円となりました。なお、自己資本比率は、前連結会計年度末に比べ0.7ポイント増加して22.5%となりました。

(2) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間の売上高は、射出成形用精密金型及び成形システム事業の売上高が好調に伸展したこと等により、前年同四半期比2億78百万円（17.8%）増の18億41百万円となりました。

損益につきましては、変動費に改善がみられたこと等により、営業利益は前年同四半期比42百万円（35.2%）増の1億64百万円、為替差損が7百万円、開業費償却が6百万円減少したこと等により、経常利益は前年同四半期比62百万円（66.1%）増の1億56百万円、固定資産売却損及び固定資産除却損の減少により特別損失が27百万円減少したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比69百万円（117.8%）増の1億27百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

< 射出成形用精密金型及び成形システム事業 >

医療機器用精密金型の売上高が好調に推移したこと等により、当セグメントの売上高は、9億50百万円（前年同四半期比52.0%増）となり、セグメント利益1億53百万円（前年同四半期比144.7%増）となりました。

< 精密成形品その他事業 >

中国子会社における自動車部品用成形品が減少したこと等により、当セグメントの売上高は、8億90百万円（前年同四半期比5.0%減）となり、セグメント利益11百万円（前年同四半期比79.0%減）となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は0百万円であります。なお、研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	23,720,000
計	23,720,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年3月31日)	提出日現在発行数(株) (2019年5月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	9,054,000	9,054,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	9,054,000	9,054,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総数 増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年1月1日～ 2019年3月31日	-	9,054,000	-	500,000	-	85,588

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（2018年12月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

(2018年12月31日現在)

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 1,328,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,725,100	77,251	-
単元未満株式	普通株式 900	-	-
発行済株式総数	9,054,000	-	-
総株主の議決権	-	77,251	-

【自己株式等】

(2018年12月31日現在)

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
不二精機株式会社	大阪市生野区巽東四丁目4番37号	1,328,000	-	1,328,000	14.67
計	-	1,328,000	-	1,328,000	14.67

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	695,129	622,798
受取手形及び売掛金	1,132,606	1,326,142
電子記録債権	80,695	133,860
製品	873,848	647,378
仕掛品	382,566	475,702
原材料及び貯蔵品	128,610	145,621
未収入金	22,269	55,501
その他	74,548	81,415
貸倒引当金	3,500	5,300
流動資産合計	3,386,774	3,483,120
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	541,466	540,881
機械装置及び運搬具(純額)	642,834	657,046
土地	447,035	447,035
リース資産(純額)	351,507	411,821
工具、器具及び備品(純額)	322,171	317,931
建設仮勘定	192,466	261,840
有形固定資産合計	2,497,481	2,636,555
無形固定資産	56,297	58,303
投資その他の資産		
投資有価証券	61,078	62,715
長期貸付金	7,228	7,163
繰延税金資産	39,324	38,533
貸倒引当金	11,780	11,768
その他	155,184	159,038
投資その他の資産合計	251,035	255,682
固定資産合計	2,804,814	2,950,542
繰延資産		
社債発行費	304	173
繰延資産合計	304	173
資産合計	6,191,893	6,433,836

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	861,443	828,686
短期借入金	1,201,310	1,399,030
1年内償還予定の社債	50,000	50,000
前受金	377,906	455,263
リース債務	127,194	113,785
未払金	284,203	219,609
未払法人税等	12,990	29,367
賞与引当金	77,567	88,101
製品保証引当金	16,603	20,193
その他	113,315	115,994
流動負債合計	3,122,534	3,320,031
固定負債		
長期借入金	1,471,470	1,388,760
リース債務	151,314	191,160
繰延税金負債	11,390	4,114
役員退職慰労引当金	14,539	14,539
退職給付に係る負債	15,987	16,734
資産除去債務	20,068	19,552
長期前受収益	4,492	4,218
固定負債合計	1,689,262	1,639,080
負債合計	4,811,796	4,959,111
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	861,948	861,785
利益剰余金	49,771	146,561
自己株式	328,862	328,441
株主資本合計	1,082,857	1,179,905
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,770	7,676
為替換算調整勘定	258,408	257,394
その他の包括利益累計額合計	265,178	265,070
新株予約権	388	384
非支配株主持分	31,673	29,365
純資産合計	1,380,097	1,474,725
負債純資産合計	6,191,893	6,433,836

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,562,851	1,841,555
売上原価	1,187,237	1,400,114
売上総利益	375,613	441,441
販売費及び一般管理費	254,182	277,270
営業利益	121,431	164,171
営業外収益		
受取利息	307	418
受取補償金	-	2,507
その他	3,119	3,062
営業外収益合計	3,426	5,988
営業外費用		
支払利息	11,870	9,384
為替差損	8,685	1,091
社債発行費償却	28	130
開業費償却	6,155	-
その他	3,753	2,833
営業外費用合計	30,494	13,439
経常利益	94,363	156,720
特別利益		
固定資産売却益	46	2
特別利益合計	46	2
特別損失		
固定資産売却損	9,014	1,207
固定資産除却損	20,003	-
特別損失合計	29,017	1,207
税金等調整前四半期純利益	65,392	155,514
法人税、住民税及び事業税	18,872	36,714
法人税等調整額	8,060	6,740
法人税等合計	10,811	29,974
四半期純利益	54,580	125,540
非支配株主に帰属する四半期純損失()	4,039	2,154
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,619	127,694

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
四半期純利益	54,580	125,540
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,935	906
為替換算調整勘定	9,207	1,167
その他の包括利益合計	7,271	261
四半期包括利益	61,851	125,278
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,968	127,586
非支配株主に係る四半期包括利益	883	2,308

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年3月31日)
受取手形	7,145千円	901千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
減価償却費	82,062千円	80,388千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年3月28日 定時株主総会	普通株式	22,739	3.00	2017年12月31日	2018年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月28日 定時株主総会	普通株式	30,903	4.00	2018年12月31日	2019年3月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自2018年1月1日 至2018年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	625,347	937,504	1,562,851
セグメント間の内部売上高 又は振替高	36,416	-	36,416
計	661,764	937,504	1,599,268
セグメント利益	62,810	54,200	117,010

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	117,010
セグメント間取引消去	4,420
四半期連結損益計算書の営業利益	121,431

当第1四半期連結累計期間(自2019年1月1日 至2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	射出成形用精密金型 及び成形システム事業	精密成形品その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	950,572	890,983	1,841,555
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,483	-	25,483
計	976,056	890,983	1,867,039
セグメント利益	153,709	11,392	165,102

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	165,102
セグメント間取引消去	930
四半期連結損益計算書の営業利益	164,171

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	7円73銭	16円53銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	58,619	127,694
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	58,619	127,694
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,579	7,726
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	7円52銭	16円34銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(千株)	220	86
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年5月15日

不二精機株式会社

取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 寺本 悟 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 里見 優 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている不二精機株式会社の2019年1月1日から2019年12月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年1月1日から2019年3月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、不二精機株式会社及び連結子会社の2019年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注)1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれておりません。